

第8回 地域づくり部会 会議概要

日 時	令和2年2月20日(木) 午後3時30分～午後4時30分
会 場	豊栄地区公民館 視聴覚室
出席委員	五十嵐隆吉委員(部会長)、澤玲子委員(副部会長)、神田征男委員、本間藤雄委員、阿部勝幸委員、山賀好郎委員、工藤真美委員、菅原妙委員、鶴巻ヨシ子委員、村山和夫委員
欠席委員	小池静夫委員
事務局 関係課	北出張所(川崎所長)、区民生活課(高桑課長・長谷川主幹) 地域総務課(中川補佐・佐藤)
会議要旨	<p>1 令和元年度自治協議会提案事業「北区みんなで見守り隊」事業評価書について 事務局から同評価書(案)の説明がありました。</p> <p>[主な意見等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォーラムで食生活推進委員協議会(食推)が、パッククッキングのPRと蒸しパン試食会を開催した点も評価書に反映したほうが良いのではないかと。→修正案で同旨を盛り込むことになった。 <p>2 「北区みんなで見守り隊」事業総括について NPO法人まちづくり学校スタッフがファシリテーターとして出席。フォーラム当日に集まった付箋意見等をもとにディスカッションを行いました。地域づくり部会として、見守りの理想的な将来像をスローガン化した記録集を作成します。 →詳細は配付資料「『北区みんなで見守り隊』報告及び記録集」のとおり。</p> <p>3 令和2年度自治協議会提案事業「北区交通マップ」の進め方について 事務局から同マップ作成工程(議論たたき台)について説明がありました。 →意見等なし。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

第 8 回 福祉教育部会 会議概要

日 時	令和 2 年 2 月 20 日 (木) 午後 3 時 15 分～午後 4 時
会 場	北地コミュニティセンター 講座室 1
出席委員	清水委員、梅津委員、樺山委員、小林委員、平松委員、藤沢委員、 6 人
欠席委員	神田(恭)委員、相馬委員、中嶋委員、佐久間委員 4 人
事 務 局	川崎課長 (健康福祉課)、拝野館長 (豊栄地区公民館)、佐藤教育支援センター長、参宮北区長、高野・深沢 (地域総務課)
会 議 要 旨	<p>(1)令和元年度自治協議会提案事業「ママ・パパ応援パンフレット」について</p> <p>事務局から資料に基づき説明がありました。また、事業評価書(案)について内容の確認を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートが概ね 100 件寄せられており良い評価をいただいている。 ・区ホームページに掲載済。 ・2 月 17 日に小中学校の職員向けに配布した。 ・配布について、1 歳半検診などの子どもはまだもらっていないのではないか。 <p>→(健康福祉課長)検討してみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ママ・パパ編、応援団編、両方の視点があったことで受け入れやすかったのではないかな。 ・アンケートの内容を健康福祉課内で共有して事業等の参考にしていきたい。 ・公民館事業のゆりかご学級でも活用していきたい。 ・孫育てをしている応援団世代にも積極的に配布していく。 <p>(2) 令和 2 年度自治協議会提案事業「福祉教育部会だより」について事務局より資料に基づいて説明がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A3 版よりも今回と同じ冊子にしたほうが、今回の続きとして読んでもらえるのではないかな。 ・今回のママ・パパと合わせ、「この 2 冊で北区の子育てはバッチリ」としてみてはどうか。 <p>→冊子とすることで合意しました。内容は次回以降で検討していくことになりました。</p>

第 8 回 自然文化部会 会議概要

日 時	令和 2 年 2 月 20 日（木曜） 午後 3 時 15 分～午後 4 時 15 分
会 場	北地区コミュニティセンター 講座室 2
出席委員	阿部(美)部会長、本間(久)副部会長、赤間委員、松田委員、黒川委員、皆川委員、本田委員
欠席委員	原委員、渡邊委員
事務局 関係課	菊地建設課長、産業振興課（山際課長、村山係長）、 地域総務課（本田課長補佐、高田）
会 議 要 旨	<p>1 令和元年度自治協議会提案事業について 事業内容について、以下のとおり協議しました。</p> <p>① 第 12 回北区ふゆっこまつり PR ブース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同イベントの参加者は子供が多いため、子どもにとって親しみやすいよう、缶バッジ作製ブースとしてはどうか。 <p>〔主な意見〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 缶バッジ作製ブースとすることで、親子連れなど、普段はラムサール条約に関心をもってもらうことが難しい世代にもラムサール条約について考えてもらう機会になり、良いのではないか。 ・ 啓発バッジを作製し、持って帰ってもらうことで、機運醸成にも繋がるのではないか。 <p>② テント及びベンチ等の購入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 購入物品・設置場所について、管理を行うビュー福島潟と検討中。 <p style="padding-left: 40px;">→ 次回部会にて報告。</p> <p>2 令和元年度自治協議会提案事業 事業評価について 「潤いの福島潟創出」及び「子どもと音楽の出会い創出」について、事業評価（案）を確認しました。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>